

八王子支社管内 のり面防災対策検討会

1. 結果概要

中央道におけるのり面崩落では、当該地区における日最大降雨量が過去最大となる大雨（相模湖地区 595mm：アメダスより）であったことが複数箇所で大規模なおり面災害に大きく寄与したと考えられるとの委員のご意見を拝聴したうえで、以下について了承された。

○中央道 43. 8KP のおり面においては、地下水の供給が豊富で湧水が多いこと、今回のような大雨によりのり面を不安定化させた可能性が高いことから、地下水量を調査の上、その結果を分析し、それらを踏まえた対策工の検討及び、本復旧までの間、二次崩落を防止するため崩落箇所への雨水浸入防止対策を講じる。

○中央道 38. 7KP の土砂流入については、後背地の調査により、沢流域に堆積した^{がいたい}崖 錐堆積物が流入した可能性が推察されるため、同様の事象を想定した対策工を検討する。

2. 今後の予定

検討会の結果を踏まえた調査を実施し、設計・対策工を立案の上、本復旧に向けた工事に早期に着手する。



写真：検討会のようす